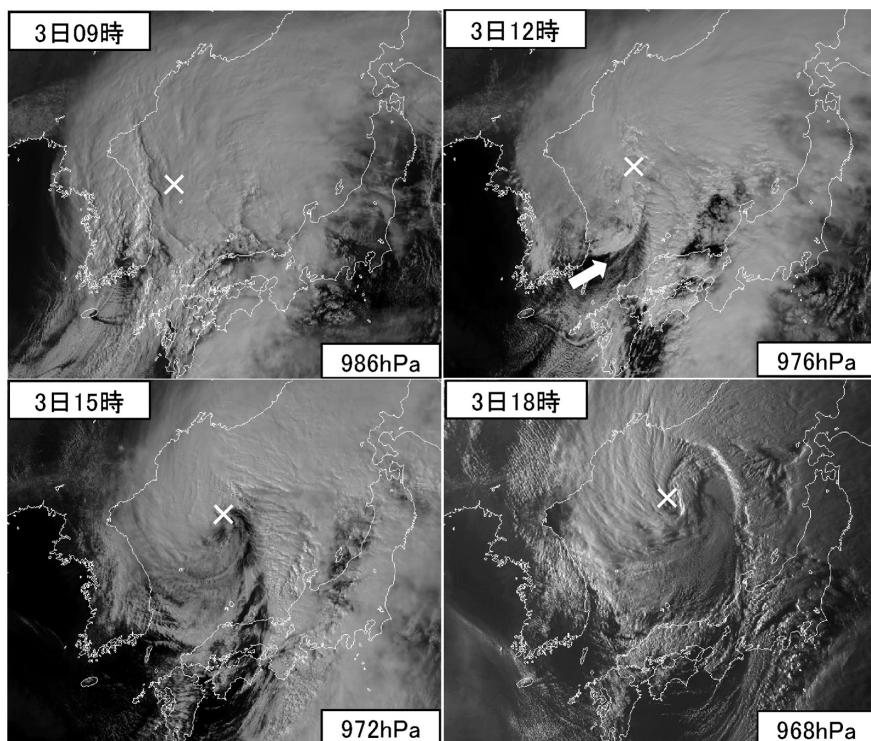




今月のひまわり画像—2012年4月

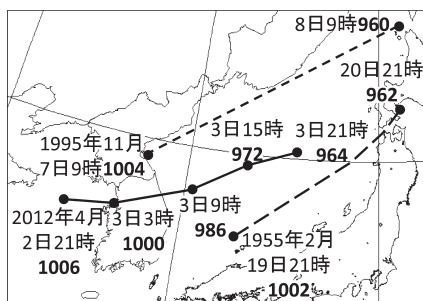
日本海で記録的に発達した低気圧



第1図 2012年4月3日09～18時（日本時間）の3時間毎の可視画像（記号×は低気圧の中心．矢印については本文参照．右下の数値は低気圧の中心気圧）．

2012年4月3日，日本海で低気圧が急速に発達しながら東北東進した．同日昼過ぎ，和歌山県友ヶ島では最大風速32.2m/s，最大瞬間風速41.9m/sの南南東の風を観測するなど西日本から北日本の広い範囲で記録的な暴風が吹き，交通機関などに大きな影響が出た．

第1図は3日09～18時（日本時間）の3時間毎の可視画像である．低気圧の中心（図中の記号×）の南西～南東象限には乾燥空気（ドライスロット：図中矢印）が流入しており，地上天気図と重ね合わせると，この先端付近で地上気圧が下降していた．低気圧は2日21時に黄海にあって中心気圧は1006hPaであったが，3日21時には日本海で964hPaとなり，24時間で42hPa下降した（第2図）．1951年以降，日本海で中心気圧が24時間に40hPa以上下降し，970hPa未満まで発達した低気圧は，今回の他に1995年11月8日09時の960hPa（44hPa下降）と1955年2月20日21時の962hPa（40hPa下降）の2事例しかなかった（第2図）．



第2図 1951年以降，24時間に中心気圧が40hPa以上下降し，970hPa未満まで発達した3つの低気圧の経路と中心気圧（hPa）．

また，同期間，今回のように日本海中部で964hPaにまで発達した低気圧は1例もなく，極めて珍しい事例であった．

（気象庁予報部予報課航空予報室 原 基）